

令和8年度

福島大学白河サテライト教室「前期講座」 受講生募集！

白河ゆかりの言語と文芸の講座

私たちが暮らす白河は、古くから「歌枕（和歌の名所）」として多くの文人が憧れ、言葉を紡いできた歴史豊かな文化の街です。

本講座では、白河出身の作家が描く現代文学、松尾芭蕉の「おくのほそ道」、白河ゆかりの美術、地域に息づく言葉の魅力について、全5回にわたって分かりやすく紐解いていきます。

歴史や文学が好きな方はもちろん、「新しい視点で白河を再発見したい」という方も大歓迎です。ぜひ、お気軽にご参加ください！

- 日程 第1回 7月20日（祝） 第4回 8月29日（土）
第2回 7月26日（日） 第5回 9月12日（土）
第3回 8月11日（祝）

各回の講義概要は裏面をご覧ください。

- 時間 午後1時30分～午後3時30分
- 会場 市立図書館りぶらん

- 受講料 1回につき1,000円（学生は500円）※第1回（7月20日）は無料
※受講料は毎回、受講日当日に徴収いたします。
すべての講座を受講された方には、修了証書が授与されます。

- 定員 各回40名（申込多数の場合は抽選とします。）
- 申込期限 令和8年7月6日（月）
- 申込方法 二次元コード、または、電話にてお申込みください。
- その他 受講者には、後日詳細を通知します。

申込はこちら
から



問合せ 白河市市長公室 文化スポーツ局生涯学習課 生涯学習係
電話0248-28-5542（直通）

講義概要

【講師】 福島大学人間発達文化学類准教授 たかはし ゆき 高橋 由貴 氏 (第1回)

福島大学人間発達文化学類教授 いじつ みちふみ 井実 充史 氏 (第2回)

奥羽大学図書館長 こばやし はつお 小林 初夫 氏 (第3・4回)

福島大学人間発達文化学類准教授 かとう なほこ 加藤 奈保子 氏 (第5回)

第1回 7月20日(祝) 白河を舞台とした小説 川瀬七緒氏の「シンクロシティ」を読む

白河市出身の作家・川瀬七緒氏の小説「シンクロシティ」を紹介し、白河近辺が舞台となった本作を地元ならではの視点で読み楽しみます。

第2回 7月26日(日) 「おくのほそ道」と白河の関前後

古来「文学の境界線」として和歌に詠み継がれた歌枕「白河の関」の象徴的意味を紐解きます。芭蕉がいかに先達への憧憬を抱き、この地で「風流の初め」の句を刻んだのか、その執念と感動に迫ります。

第3回 8月11日(祝) 日本語の方言

方言とは何か？標準語と共通語は同じか？方言はなぜ生まれるのか？など日本語の方言の基礎を解説します。また、1949年に白河市で行われた国立国語研究所の言語調査についても紹介します。

第4回 8月29日(土) 現代社会と方言

標準語制定や標準語教育の歴史をふり返り、方言の社会的価値の変遷を見ながら現在の方言の位置を確認し、社会に役立つ方言学を紹介します。また、白河市でできる方言の有効活用について考えます。

第5回 9月12日(土) 平安時代の美意識～美しくかざる～

平安時代末期、都の権力者たちの荘園が置かれていた白河。そこから得た富が注ぎ込まれた美術品を取り上げ、当時の貴族たちの美意識を紐解いていきます。

希望する回のみを受講も可能ですが、
全5回を受講をおすすめします。

